



五小だより

ホームページ URL <https://www.kodaira.ed.jp/05kodaira>

メールアドレス gakkou@05.kodaira.ed.jp

令和8年5月29日発行

6月号

小平市立小平第五小学校

ふれ合い月間について

校長 屋代 弘一

保護者、地域の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご協力いただき、誠にありがとうございます。

先日は、たてわりペア遠足を実施いたしました。

1年生と6年生、2年生と4年生、3年生と5年生がペアを組み、小金井公園に遠足に出かけます。(さくら学級のこどもたちは、学級でまとまって出かけます。)

異学年の友達と行動をともにすることで互いに相手を理解する気持ちや上学年生は下学年生を優しくいたわる心情を養うことなどを目標としています。

日光尾瀬移動教室を経験し、ひと回り頼もしく成長した6年生は、往復の道すがら、1年生が車道側を歩かないようにさりげなく配慮してあげたり、1年生が楽しめる遊びのバリエーションを工夫したりしながら、好ましい指導性を発揮していました。当日は晴天にも恵まれ、緑も鮮やかな小金井公園で楽しい一日を過ごしました。



さて、6月は東京都教育委員会が定める「ふれあい月間」です。この月間は、いじめの未然防止を中心としながら、こどもたちが互いに認め合い、安心して毎日を過ごせるよう、心のふれ合いを大切にした活動を行います。

本校では、全ての教職員が、「いじめは絶対に許されない」、「いじめは、どのこどもにも、どの学校でも起こりうる」、「どのこどもも被害者にも加害者にもなりうる」という認識に立ち、日々の学校生活の中で、こどもたちの変化を見逃さず、小さな不安やサインにいち早く気付けるよう努めています。

いじめの問題に適切に対応するためには個々の教職員の鋭敏な感覚と指導力を高めることが大切です。そのため教員研修の充実を図ります。ふれあい月間では、いじめに関する児童アンケートを実施します(年間3回実施)。「SOS の出し方」に関する学級指導や「いじめ」に関する授業を実施します。また5年生児童に対してスクールカウンセラーによる児童全員との面談を行います。

このような学校での取り組みを進めることに加え、こどもたちが安心して学校生活を過ごすためには、学校とご家庭との連携も欠かせません。ご家庭での会話等で、お子さんの変化や悩みに気付いた時には、速やかに学校にご相談ください。引き続き、学校、家庭、地域が連携してこどもたちの成長を支えていきたいと考えています。

6月の生活目標

安全に気を付けて友だちと仲良くしましょう

自分や周りの人の安全を守ることができる、周りの人と折り合いを付けながら協力し合えることは、社会の中で生きていくためにとても大切なことです。

学校では安全に過ごせるようにいろいろな決まりがあり、その決まりを守ることで皆の安全が守られるとともに、一人一人が安全に過ごすスキルを学んでいます。また、授業中、休み時間、当番活動、放課後の生活など様々な場面で友達と関わり合うことで、協力の仕方や自分の思いや考えの伝え方を学んでいます。

これらの学びには、周りで見守っている大人からの適時適切なアドバイスと支援が不可欠です。気付いたことをしっかりと伝え、必要な支援をする役割を、こどもたちの周りにいる大人全員で果たしていきたいと思えます。

(生活指導部)

6月行事予定

下校時刻については特別な場合のみ、各日にちの点線の下に記載いたします。

月	火	水	木	金	土
1 水泳指導開始 読書月間(始) 委員会活動	2 体カテスト(全)	3 たてわり班結成式 ①(全) 研究授業⑥(2)	4 読み聞かせ(6)	5 歯科検診(1, 2) 読み聞かせ(5) 体カテスト予備日	6
		14:35(2)			
8 クラブ	9	10 特別時程4時間授業	11 読み聞かせ(3)	12 読み聞かせ(4)	13 特別時程 4時間授業 ごらいら特別活動の日 たてわり班活動② 学級会③
		12:50(全)	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 5px; display: inline-block;"> 学校公開は、 たてわり班活動②と学級 会③を公開します。 </div>		12:00(全)
15 振替休業日	16 避難訓練③	17 生命(いのち)の安全教育①(全)	18 読み聞かせ(2) 社会科見学(6) 月曜日時間割	19 読み聞かせ(1)	20
22	23	24 移動教室事前検診 (5) 社会科見学(4-3, 4)	25	26 社会科見学(4-1, 2)	27
29 移動教室(5) 給食試食会	30 移動教室(5) 租税教室(6) 読書月間(終)	7/1 避難訓練 研究授業	2 通常時程4時間授業 (5) 読み聞かせ(さ)	3 通常時程4時間授業	4
	16:00(5)		13:30(5)	13:30(全)	

★スクールカウンセラー来校日(原則:火曜日) 担当:半田 かおり (Tel:042-461-9330)

★月曜日、クラブ・委員会のある日の2年生は4時間授業となります。(通年)13:30下校

★最終下校時刻は、各学年最終授業終了時刻の10分後となります。Classroom、各クラスの連絡等で御確認ください。

個人面談について

7月9日(木)~7月15日(水)まで個人面談を行います。

1学期のお子様の学校での様子、成長したこと、夏休みに向けて課題としてほしいこと等を学校よりお伝えいたします。保護者の皆様からは、お子さんのご家庭での様子、ご家庭で見えるこどもたちの成長などを教えていただけたらと思います。今回から、日程調査を Google formsから打ち込んでいただく形に変更いたしましたので、今までありました「面談で話題としてほしい内容」をお聞きする機会がありませんでした。もし、ご希望がございましたら、各担任に連絡帳等でお伝えください。当日は、面談開始時刻に遅れないようにご来校いただくこと、ご都合が悪くなった際は、早めに担任に連絡を入れていただくことにご留意ください。有意義な時間となりますよう、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。

2学期は希望制の個人面談となります(詳細は後日)。こちら Google formsから打ち込んでいただく形になりますので、**打ち込む期間内に必ず希望を出していただけますよう、**よろしくお願いいたします。(教務 長島 寛和)

五小の取組紹介コーナー



6年生「日光移動教室に行ってきました!」

日光東照宮で豪華な彫刻や歴史ある建築に触れ、白根魚苑では、ふくべ細工や草木染め、ニジマス釣りなど、たくさんの貴重な体験を行うことができました。夜は、レク係を中心にキャンプファイヤー、ナイトレクを行い、学年の絆が深まる素晴らしい思い出になりました。

こどもたち一人一人が「時間を守ること」を意識し、昨年度よりレベルアップした移動教室になりました。今回の移動教室で学んだことをこれからの生活に生かし、五小を引っ張るカリスマとして、さらに活躍してくれることを期待しています。

(田口 実久)



たてわりペア遠足

5月19日にたてわりペア遠足で、小金井公園まで歩いて行きました。1・6年生ペア、2・4年ペア、3・5年生ペア、に分かれて上学年の児童が下学年の児童を優しくサポートしながら、仲良く行動することができました。

当日は、たてわりペアの班で仲良く遊んだり、いつも一緒に過ごす仲間とクラス遊びをしたり、たてわり班でおいしいお弁当を食べたりしました。上学年は、どの学年の児童も年上としてリーダーシップを発揮したり、下学年の児童は上学年の子を頼りにし親しみをもって接したりと、それぞれ良い関係性を築くことができ、充実した遠足となりました。

これから、学校全体としてのたてわり班活動も行われていきます。6年生を中心にしながら、様々な人との関わり方について学年に応じた力を身に付けていきます。

(藤波 寛子)



セーフティ教室

5月21日(木)4校時に、4・5・6年生を対象に、SNSルールについて外部講師をお迎えしお話ししていただきました。「自分がインターネットでやろうとしていることを、普通の街の中でやったらどうだろうか、と考えてみよう。」「AIの情報は、必ず正しいとは限らない。」「自分では個人情報を出していないと思っても、個人や家の場所などが特定できてしまうことがある。」など、今のネット技術の中でネットから正しい情報を得ることや、自分を守りながら発信することの難しさについての話がありました。また、「SNS ツールは利用者の年齢幅が決まっています、小学生は保護者の管理下でのみ使えると規約などで決まっています。」というお話もありました。

ネットの世界での出来事が、こどもたちの一生に影響してしまうこともあります。こどもたちが正しくインターネットを活用できるよう、大人がしっかりと見守ることの必要性を改めて感じました。

(近藤 浩崇)

五小のICTについて

今年度、児童の学習者用端末が新しくなり、貸与を開始しました。新しい物を使うときは誰でもワクワクすると思います。この新しい環境を最大限に生かし、日々の学習をより確かなものにするため、本校では独自に学習アプリ「おんたまドリル」を開発し・導入いたしました。漢字練習や計算問題、地図記号などをこどもたちの習熟度に合わせて主体的に復習に取り組めるよう、願いを込めて開発したアプリです。ぜひご家庭でもご活用ください。

また、活用の推進とともに重要となるのがICTとの向き合い方です。これまではトラブルを防ぐ「情報モラル」の指導が中心でしたが、今後はデジタル社会の善き担い手として技術を前向きに使いこなす「デジタルシティズンシップ」の考え方を取り入れた学習も検討しております。

端末はあくまでも学びの道具ですが、それを正しく、かつ創造的に使う経験は、これからの社会を生き抜く大きな力となります。学校と家庭で連携し、こどもたちの成長を支えていければ幸いです。

(山崎 里奈)